

主要事業概要		対象年度	令和 4年度	担当部署	スポーツ振興課			
		事務事業名	スポーツ推進事業		事業期間	継続		
事業性質	<input type="checkbox"/> 主要事業	<input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略		<input type="checkbox"/> 行財政改革				
予算科目	会計	01 一般	款	10 教育費	項	05 保健体育費	目	01 保健体育総務費

事業費内訳 (単位: 千円)	R 3決算額	R 4決算額
かすみがうらマラソン大会開催に要する		3,000
市民ふれあいスポーツ推進に要する経費		3,264
スポーツ団体育成に要する経費		5,954
事業費計		12,218

◆主たる事業概要

【令和 4年度事業概要と効果】

①かすみがうらマラソン大会開催に要する経費

概要：土浦市との共催事業として大会を運営し、実行委員会へ補助金を交付。本大会は国際ブラインドマラソン大会を兼ねており、第32回大会（令和4年4月17日開催）のエントリー数は10,631人。

効果：地域住民と参加者との交流により、環境問題や福祉への意識の高揚と交流人口の拡大が図られた。

②市民ふれあいスポーツ推進に要する経費

概要：霞ヶ浦を生かした水辺のアクティビティ体験教室等の各種スポーツ教室の開催のほか、学校体育施設の夜間開放事業、総合型地域スポーツクラブとの連携によるスポーツ・レクリエーション活動機会の提供を行う。

効果：生涯にわたってスポーツを楽しめる環境づくりを行ったことで、市民の健康の保持・増進が図られた。

③スポーツ団体育成に要する経費

概要：スポーツ協会加盟団体による市長杯大会及び各種大会の開催、各事業への協力及びスポーツ少年団の健全育成の支援や新たな競技種目の発展など、市民スポーツ活動の機会向上に取り組む。

効果：健康増進と体力・競技力の向上が図られたほか、地域コミュニティの活性化にも資した。



【市民ふれあいスポーツフェア】



【市民マラソン大会】



【親子カヌー教室】

【地方創生総合戦略の取組内容】

○スポーツ推進委員の育成

カヌーイベント等を通じた指導員（海洋性レクリエーション指導員）の育成

○栈橋を活用したカヌー体験

【行財政改革の取組内容】

■指標

種類	指標内容	単位		R 3年度	R 4年度	R 5年度
事務事業 成果指標	各種スポーツイベント、講座などへの参加人数	人	目標	-	5,000	4,000
			実績	-	3,147	-
総合戦略 成果指標 (KPI)	カヌー指導員育成人数（海洋性レクリエーション指導員）	名	目標	1	1	1
			実績	1	1	-
行財政改革 成果指標			目標			
			実績			

◆評価 (C)

事務事業	妥当性評価	必要性	高	誰もが気軽にスポーツに親しむ環境づくりに資するもので、高評価に値する			
	有効性評価	事業成果	高	新型コロナウイルス感染症の影響を加味しても多くの方がスポーツイベントに参加され、事業成果は高評価に値する			
	効率性評価	経費削減	有	既にスポーツ協会をはじめとした市民団体等の協力を大いに受けており、効率性を考えても経費削減は困難である			
	課題	今まで以上に手軽に参加していただけるよう、市民ニーズに合わせた多様性のあるスポーツイベントの開催を実施していく					
	部署内評価	コロナ禍ではあったが、基本的な感染対策を講じながら各事業において予定どおり実施することができた。特に、体験型スポーツイベント「市民ふれあいスポーツフェア」では、総合型地域スポーツクラブ等の関係団体との連携のもと、子どもから高齢者まで多くの市民が参加し、スポーツを楽しんだ。				評価結果 A	昨年度結果
総合戦略	KPI進捗 (5年ごとの評価)	実施行程進捗 (全体評価)	やや順調	80%	目標到達度	成果有り	60%
	成果と評価	○コロナ禍ではあったが、基本的な感染対策を講じながらカヌー及びサップの体験教室を実施することができた。更には、スポーツ推進委員としての人材育成を図るため、有資格者の積極的参加のもと、指導員としてのスキル向上に努めた。				評価結果 A	昨年度結果 C
行財政改革	進捗概要 (取組内容)	実施行程進捗 (単年度評価)			目標到達度		
	成果と評価 (令和4年度)					評価結果	昨年度結果
総合評価結果	内部評価	コロナ感染症の対策を講じ、各種事業を実施することができた。特に「市民ふれあいスポーツフェア」では、3年ぶりの開催となったが、関係団体と連携し多くの市民が参加した。より参加者が増加するよう内容を検討していく。				内部評価結果 A	昨年度結果
	外部評価					外部評価結果	昨年度結果

◆今後の改善方策や方向性 (A)

事務事業	事業判断	継続性	改善	多様性あるスポーツイベントの事業拡大
	改善方策	誰もが健康で幸せな生活が送れるよう、市が主催するスポーツイベント等においても持続可能な開発目標 (SDGs) の達成のため、何をするのか、どのようなことができるのかを一人ひとりが考えて行動する		
	方向性	市民にニーズが多様化する中において、恒久的なスポーツイベントの開催に向け検証を重ねる。		
総合戦略	次年度取組計画	○引き続き、スポーツ推進委員の資質向上に努めるとともに、だれもが気軽に水上スポーツを楽しめるよう参加しやすい環境づくりを進め、協力団体と連携しながら水辺のアクティビティ事業を展開していく。		
行財政改革	次年度取組計画			
指摘事項	内部評価	「市民ふれあいスポーツフェア」など、幅広い年代が参加できるイベントの開催を検討すること。		
	外部評価			

主要事業概要		対象年度	令和 4年度	担当部署	スポーツ振興課			
		事務事業名	体育施設管理運営事業		事業期間	継続		
事業性質	<input type="checkbox"/> 主要事業	<input type="checkbox"/> 総合戦略	<input checked="" type="checkbox"/> 行財政改革					
予算科目	会計	01 一般	款	10 教育費	項	05 保健体育費	目	02 体育施設管理費

事業費内訳 (単位:千円)	R 3決算額	R 4決算額
体育センター管理運営に要する経費		1,918
わかぐり運動公園管理運営に要する経費		29,192
多目的運動広場管理運営に要する経費		31,149
戸沢公園運動広場管理運営に要する経費		10,630
第1常陸野公園管理運営に要する経費		34,507
(仮称) スポーツ公園管理運営に要する		20,364
事業費計		127,760

◆主たる事業概要

<p>【令和 4年度事業概要と効果】</p> <p>共通概要：市民がスポーツを気軽に楽しめるよう、施設予約システムの登録・利用を促すとともに、誰もが安全・安心に施設利用できるよう、適切な施設の維持管理や施設周辺の環境整備を行い、併せて、指定管理者制度の導入も視野に入れながら検討を進める。</p> <p>共通効果：各施設の修繕等を行い、安全・安心に利用できるよう適切な施設の維持管理に努めた。</p> <p>①体育センター管理運営に要する経費 個別概要：機械警備委託、清掃業務委託、玄関入口破風修繕、ガラス修繕</p> <p>②わかぐり運動公園管理運営に要する経費 個別概要：緑地管理業務委託、受付管理・清掃業務委託、機械警備委託、土地借上料、グラウンド外周路灯LED交換工事、屋外トイレ照明修繕、体育館内装修繕、テニスコート2面人工芝張替工事</p> <p>③多目的運動広場管理運営に要する経費 個別概要：緑地管理業務委託、受付管理・清掃業務委託、機械警備委託、土地借上料、高圧受電設備交換工事、倉庫シャッター鍵修繕</p> <p>④戸沢公園運動広場管理運営に要する経費 個別概要：緑地管理委託、清掃業務委託、土地借上料</p> <p>⑤第1常陸野公園管理運営に要する経費 個別概要：緑地管理業務委託、受付管理・清掃業務委託、機械警備委託、プール監視業務委託、駐車場外灯整備工事設計業務委託、テニスコート照明LED交換工事</p> <p>⑥(仮称) スポーツ公園管理運営に要する経費 個別概要：緑地管理業務委託、清掃業務委託、公園用地取得費(借地部分：地権者2名)</p>
<p>【地方創生総合戦略の取組内容】</p>
<p>【行財政改革の取組内容】</p> <p>指定管理制度導入の検討材料となる(仮)スポーツ公園活用構想の検討及び同公園用地借地部分の買取を計画 老朽化施設の現状把握</p>

■指標

種類	指標内容	単位		R 3年度	R 4年度	R 5年度
事務事業 成果指標	施設の利用向上に伴う利用者数の増加	人	目標	-	110,000	110,000
			実績	-	92,223	-
総合戦略 成果指標 (KPI)			目標			
			実績			
行財政改革 成果指標	借地の買取又は返還件数	件(累計)	目標	-	2	3
			実績	-	1	-

◆評価 (C)

事務事業	妥当性評価	必要性	高	個人及び団体競技に至るまで、様々なスポーツに対応する施設整備を推進することで、市民のスポーツに親しむ環境の充実を図るうえで必要性は高いと判断する。					
	有効性評価	事業成果	高	市の社会体育施設の充実を目的としており、事業成果は高いと判断する。					
	効率性評価	経費削減	無	現段階での事業費削減は考えられない。					
	課題	新たな施設の整備及び設置により、段階的に廃止及び代替利用が可能な施設は考えられる。							
	部署内評価	各施設の軽微な修繕等については早期修繕を進めるとともに、緑地管理では委託業者を監督し、適切な維持管理を実施した。また、老朽化施設の状況把握を行い、関係部署と情報共有を図り令和5年度予算計上に努めた。				評価結果	昨年度結果		
総合戦略	KPI進捗 (5年ごとの評価)	実行程進捗 (全体評価)			目標到達度				
	成果と評価					評価結果	昨年度結果		
行財政改革	進捗概要 (取組内容)	実行程進捗 (単年度評価)	未着手	25%	目標到達度	成果有り	50%		
	成果と評価 (令和4年度)	(仮)スポーツ公園活用構想では、民間事業者等による指定管理制度導入の検討も視野に入れながら、子どもからお年寄りまで世代を問わずスポーツを楽しめる一体的なエリアの活用に向けた検討に努めた。大規模改修に伴う実施設計費の積算(多目的運動広場照明施設、わがぐり運動公園体育館)				評価結果	昨年度結果		
総合評価結果	内部評価	スポーツ関係施設が安心して利用できるよう、必要な修繕個所の把握など、適切な維持管理に努めた。各施設の再点検を行い、修繕計画の検討を進めていく。				内部評価結果	昨年度結果		
	外部評価					外部評価結果	昨年度結果		

◆今後の改善方策や方向性 (A)

事務事業	事業判断	継続性	改善	全ての施設において経年劣化による劣悪が見受けられる。			
	改善方策	市民のニーズや施設の稼働状況を総合的に検証し、運動公園施設の改修や廃止を検討する。また、市民のニーズに合わせた新たな施設のあり方について検討する。					
	方向性	市民ニーズに合わせた運動施設運営及び管理の中で、利用者数減少に伴う運動公園の廃止検討を行う。					
総合戦略	次年度取組計画						
行財政改革	次年度取組計画	安全安心な体育施設の運営に向けて老朽化施設の修繕計画の検討を進めるとともに、継続して指定管理者制度導入の検討と併せて借地の買取及び返還の見直しについても検討し、体育施設の適正化を図る					
指摘事項	内部評価	各施設の利用状況の動向を検証し、長期的な施設の整備検討を行うこと。					
	外部評価						